

「自主 自律 時間」の力がレベルアップされていった3日間でした 1年 清里移動教室 7月5日(水)～7日(金)

移動教室1日目は、入笠山に登りました。沢入登山口からの最初の15分は一気に登っていくような傾斜できつそうでしたが、そのあとは順調に進み、1時間ほどで入笠湿原に到着、下界に比べるとかなり涼しかったです。昼食をとったところで、今朝の都心部の渋滞で到着が遅れたことや、これから雨の予報であることなどから、頂上登山は断念し下山することにしました。下りは、来た道で慣れていたため、スムーズに気持ちよく歩くことができました。



夕食のあとは、体育館でレク大会、男女別クラス対抗大縄跳び大会を行いました。はじめは上手く跳べませんでしたが、クラス対抗ということで熱が入り、どのチームも時間いっぱいまで練習に取り組みました。勝敗はともかく、みんなが真剣にやることで盛り上がり、楽しい交流の時間となりました。

移動教室2日目、午前、清里のパーマネントコースを使ってオリエンテーリングを行いました。要所要所に教員を配置したチェックポイントはありますが、地図を頼りに森の中の道を歩くのはなかなか難しいもの。途中、この道で合っているのか不安になることもありました。そうした中、班で協力しながら美しの森展望台にゴールし終えたときは、ちょっとした冒険気分を味わうことができました。展望台からの眺望は、天気予報どおりの雲一つない晴天で、富士山をはじめ周囲の山々が一望でき、素晴らしかったです。



午後は、滝沢牧場に移動、3種類の体験学習(バードコール作り・乗馬体験・飼育動物へのエサやり体験)を行いました。午後は日差しも和らぎ、高原の爽やかな風が吹く中での活動は、どこかのんびりとしていて、東京にはない自然のよさを感じる機会となりました。体験の合間に食べるソフトクリームは、とても美味しかったです。

夜のレク大会は、「ドッチビー」を学級チーム対抗で開催しました。リーグ戦の勝ち数で優勝が決まるということで白熱した試合が展開、みんな時間を経つのも忘れて競技に参加していました。閉会式では、終えたばかりの「ドッチビー」、昨晚の「大縄跳び」、そして午前中にやった「オリエンテーリング」を点数化しての結果で、それぞれの優秀チームの表彰式を行い、健闘をたたえました。

最終日3日目は、八ヶ岳中央農業実践大学校での「農林業体験」をしました。炭焼きや林業、養鶏やバター・チーズ作りなど、各自で選択した体験学習は、どれも日頃やることも見ることもない仕事=労働活動なので、楽しいだけでなく貴重な経験であり、懸命に取り組んだ分、とても充実感がありました。



今、私たちは仕事の内容はもちろん、何か知りたいことがあれば、スマホやタブレット PCなどで情報を容易に手に入れることができます。しかし、農業大学校の先生方が開校式でおしゃっていたように、「五感を働かせて」実際に関わる体験もまた大切であることを実感した体験学習でした。

今回の生徒スローガンは「自主 自律 時間」でした。初めはうまくできてはいませんでした。互いに声をかけ取り組んでいく中で、だんだんとうまくできるようになり、この3日間でそのどれもがレベルアップされていきました。こうして培った学年としての力を、今度は学校生活で活かしていってほしいと思います。今後のさらなる成長が期待できる、移動教室になりました。